

★子どもの薬の使用法★

～点眼剤～

ヘルスファーマシー薬局 鈴木 幸

花粉症の季節になり、子供に対して点眼剤を使用する機会も増える時期です。小児に点眼剤を使おうとしても、怖くて目を閉じてしまったり、泣いてしまうこともあり、点眼するのに苦労している保護者の方も多く見られると思います。今回は、小児の点眼剤の差し方を説明します。

①小児の頭を固定する。

特に乳幼児の場合は点眼剤を嫌がる人が多いので、頭を振ってしまい、なかなかうまく差すことが出来ません。小児を仰向けに寝かせて保護者の膝や股の間に小児の頭を固定すると良いでしょう。膝まくらをして子どもを怖がらないように優しく行う方法もあります。怖がらせて泣かせてしまうと、涙で点眼剤まで流してしまいますので注意が必要です。



②手で下まぶたを開けます。容器の先端が視界に入らないように軽く目を閉じ、下まぶたを引っ張って点眼します。

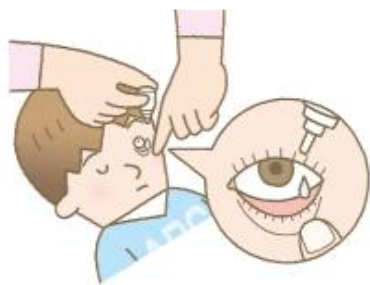
また、点眼薬は子どもにとって得体のしれない液体なので、怖がって当然。それにあまり高さがあると、目薬がピチャッと目に当たる感覚が不快に感じる子がいます。なるべく低いところから目の真上ではなく、目尻の横から差すようにしましょう。目薬だと涙腺に目薬が流れやすく喉のほうに落ちていってしまうからです。

③点眼剤の先がまつ毛やまぶたにつかないように一滴落とします。

点眼剤の先がまつ毛などにつくとそこから薬の中に雑菌が入る可能性があります。入れる量は一滴で十分です。それ以上差しても薬剤が目からあふれてしまい、効果はありません。

④寝ている時もチャンス！！

点眼する時間は、なるべく規則正しい時間や間隔をおいて差した方がいいのですが、点眼する時間が厳密に決まっていない場合、子どもの寝入っている隙に目薬を差してしまうのも一つの手です。寝ているところに、そーっと行って目の下のところをあっかんべーさせて数滴たらしましょう。眠りが浅いときに行うと片目を差しただけで起きてしまうので、熟睡している時を狙うのがポイントです。



田辺製薬販売株式会社より
イラスト引用

裏面へ続く

★その他注意点★

☆もしも小児が泣いていたら・・・
泣き止むのを待ってから点眼してください。
(涙で点眼剤があふれ出てしまうため)

☆冷たいままだと嫌がることも・・・
冷所保存も点眼剤の場合、冷蔵庫から出してすぐに使用すると冷たいのが刺激になり、嫌がる小児もいます。少し室温に戻してから点眼すると良いでしょう。

☆目薬と眼軟膏が2種類出た場合
眼軟膏は水溶性の目薬をはじくので、眼軟膏は最後につけてください。
2種類以上の点眼剤を同時に使用する場合、一般的には5分以上間隔をあけます。
(前の点眼剤の効果が減弱する可能性があるため)

最後に、子どもにとって点眼剤は未知の遭遇です。
できたらとにかく「すごい！よくできたね！！」「えらい！」など、いっぱい抱っこして褒めてあげることをお忘れなく。

【 いちにち おもちゃ 】



みんなが好きなおもちゃ。1人の男の子が次々とおもちゃに変身していきます。ページをめくる度に思わず笑ってしまう楽しい絵本です。実際おもちゃに変身してみた時の男の子の表情にも注目です。大人の方でも楽しく読んで頂けると思いますので、是非手にとってみて下さい。

作 ふくべ あきひろ
絵 かわしま ななえ

保育士 青木 三奈

今号のスタッフ一言日記

お休みの日に、子供と春日部の内牧公園に行きました。色々な種類のアスレチックがあって、とても楽しい公園でした。私は半日ほどいて帰りましたが、これからの季節はお弁当を持って行くのもいいかもしれませんね♪

保育士 田村 智子